

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年2月9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1690500044		
法人名	株式会社メディカルケア		
事業所名	ケアホームあお		
所在地	富山県氷見市阿尾860-1		
自己評価作成日	平成29年12月13日	評価結果市町村受理日	平成30年3月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	北証パトナ株式会社		
所在地	富山市荒町2番21号		
訪問調査日	平成30年1月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

いろいろな年代の職員がおり、アットホームな環境となっています。年に6回の自主避難訓練、年2回の消防署立会いで避難訓練を行っております。看護師が配備されており、週に一度訪問看護にも来ていただき、医療面でも支援しています。週一度のカンファレンスを行い、ケアの向上を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所に所属する看護師のほか、併設している小規模多機能型居宅介護事業所の看護師との相互連携のもと、看護師の常駐化が図られている。更には、週一回の訪問看護も実施されており、利用者の健康管理に十分配慮した体制が取られている。また、終末期の支援も積極的に行っている。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	項 目	取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

ケアホームあお

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	申し送り時に理念を唱和し意識を高める努力をしています。	法人の共有理念をつくり、申し送り時に理念を唱和し、共有化と意識づけに努めている。	事業所内研修等で、理念について職員間で良く話し合い、意思統一を図り、理念の具現化に向けた取り組みが期待される。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	文化祭、回覧板、地域へのゴミ出し等、地域行事に参加して、地域の方々と繋がりを持ち、良い関係が築けるように努力しています。納涼祭には地域の方にも参加してもらっています。	文化祭や溝掃除、除草などの地域活動には積極的に参加しているほか、夏には地域の人達や家族を招いての納涼祭を開催するなど、地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	氷見市で実施している徘徊SOS、認知症サポーター養成講座に参加しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度、運営推進会議を行い、利用者様・家族様・民生委員・市役所の方々に参加して頂き事例を報告し意見やアドバイスを頂き参考にし、日々のケアに役立てるようにしています。	併設の小規模多機能型居宅介護事業所との合同で2ヶ月に一度開催しており、利用者や家族にも順番に参加してもらっている。会議では事業所の近況をはじめ外部評価等について話し合っている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	高齢者見守りSOSネットワークの協力団体になっています。氷見市の困難事例にも対応しています。	運営推進会議に参加してもらっているほか、市主催の研修会にも参加し、意見交換を行うなど連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内研修で拘束について勉強会を行い、拘束のないケアに努めています。玄関の開錠は7～20時となっています。	事業所内研修や法人が主催する全体研修で身体拘束の個別事例等について、定期的に勉強会を開催し身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修で虐待についての勉強会を行い、虐待のないケアを学び、利用者様と接するようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修で勉強会を開き、理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重度化、看取りについて利用者様の状態の変化に合わせて家族様に説明し、納得のいくまで時間をかけています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、家族様からの意見、要望を貰えるようにしています。	利用者からは日々の会話の中から、家族からは面会時に意見・要望を聞いている。出されたものは連絡ノートに記載し、カンファレンス等で話し合い運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者を通し、意見を聞く機会を設けています。	職員が気軽に意見が言える雰囲気づくりに努め、日常的に意見・提案を聞いている。出されたものはカンファレンス等で話し合うほか、重要なものは法人全体の管理者定例会でも協議し、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員にはモニタリングの担当を決め、役割をもってもらっています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に一度の事業所内研修・メディカルケア(法人)での全体研修・外部研修に参加してレベルアップの向上を図っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修に参加した際には参加者との情報交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	孤立しないように接する時間を多く取るようにしています。利用者様の言葉などに耳を傾け、得た情報をチーム全体で共有し、良い関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の思い、意見を聞き受止めるように努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族様からの要望を受止め、職員間でカンファレンスで話し合い適切なサービス・ケアが行えるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様各自が自分の出来る事を見極め、押しつけではなく職員と一緒に話しながらお手伝いなどをしていただいています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様の思いに寄添い、利用者様が安心して生活できるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている	本人と付き合いを継続できるように、支援しています。	利用者や家族から聞き出した馴染みの関係はフェースシートに記載し管理している。知人の来訪時の支援や年賀状を出す手伝いをしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生会や季節のイベントを企画し、利用者様同士が話し合える場を作っています。また利用者様間のトラブルがないように、一人ひとりに目を配っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した家族様にも必要時に相談に応じるように努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式や会話から、意向・希望の把握に努めています。	どんなときに笑顔が見られるかなどを観察したり、会話の中から本人の思いを把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式や本人との会話から情報収集し、これまでの生活歴の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間シート、本人・家族様との会話から情報収集し現状把握から本人に合った方法を考えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	週に一度、職員全員でカンファレンスを行い、出た意見や案をもとに介護計画を作成してケアに努めています。	利用者の変化に対応できるよう、毎週カンファレンスを開き、モニタリングを実施し、一人ひとりの利用者のより良い暮らしの支援のための介護計画を作成している。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	職員間の連絡ノート、介護記録による情報を共有し、カンファレンスでも話し合いケアに繋がっています。			
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	緊急時に家族様での受診が行けない時などは、職員が受診に同行しています。また受診先までの送迎も行っています。			
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	地区の文化祭に利用者様の作った作品を展示させて頂き、利用者様と会場へ行き見学をしています。			
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	週に一度、訪問看護に来て頂き意見をもらっています。何かあれば主治医との連携を取っています。本人、家族様が希望されるかかりつけ医にて適切な医療が受けられるようにしています。	入居前からのかかりつけ医との信頼関係を大切に、そのまま継続してもらっている。毎週、かかりつけ医の指示に基づいて訪問看護サービスに来てもらうなど、医療の連携に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に一度の訪問看護で看護職員に気づき・状態などを伝えアドバイスをもらっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーを届けています。入院先に訪問も行っており、看護師に情報もらっています。退院時には退院カンファレンスに参加し、これからのケアの方法など情報もらっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期の支援を行っています。家族様の思いにそえられるよう努力し、主治医や訪問看護とも連携し支えています。	重度化や看取り支援については、本人や家族が住み慣れた事業所で支援してほしいとの希望があれば、応える態勢をつくっている。また、体調面で変化が見られれば、早め早めに家族と話し合い、医師や訪問看護師と今後の方針を共有して支援にあたっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を受け急変時や事故発生時に対応できるように努めています。またAED、救急カートも設置しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スプリンクラーの設置をしていますが、自主避難訓練、消防署立会いでの避難訓練を行い、もしもの火災に備えています。風水害災害対策には実際に避難場所まで避難もしています。	火災訓練のほかに、風水害に備え、避難場所まで実際に避難し、誘導方法や所要時間などの課題について、今後どのように対応するか、検討している。	今後は、風水害や地震（津波）に備えて、対策マニュアルをつくり、利用者を交えた避難訓練を行うことが期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の出来なくなった事を補い、丁寧な言葉で接しています。ケア時にはプライバシーを損なわないように気をつけています。	共に暮らす中で、利用者主体の原則をモットーに、一人ひとりの人格を尊重した対応に取り組んでいる。また、利用者のプライバシーや羞恥心に配慮し、適切な距離を取りながら、安心して暮らせるような支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定が出来るような声掛けを行い、利用者様の要望に応じられるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様には自由に自分のペースで生活出来るように支援しています。また訴えが多い時には傍らで話を聞き、出来る限り本人の要望に応えています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	手足の爪切り、着衣の乱れている方には声掛けを行い正していただいています。出来ない方には職員が支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、調理、片付けなど利用者様と職員と一緒に、出来る範囲で行っています。お楽しみランチを提供し、普段と違ったメニューも提供しています。	包丁が持てなくても、野菜をちぎってもらうなど、本人の役に立ちたいという思いを汲み取り、皆で食事を準備し、共に味わい、楽しい雰囲気をつくっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の身体状態に合わせ食事形態を変え、食べやすいように提供しています。毎回の食事量・水分量が確保出来るようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは利用者様に合わせて行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を利用し、利用者様の排泄パターンを知り、さりげない声掛けを行い誘導をしています。	羞恥心に配慮することを念頭に置き、トイレへの誘い方、失敗があった時のケアなどに留意し、利用者の自尊心を大切にしながら、排泄の自立につなげている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	申し送り時に各自の排便状態を伝え、勤務職員全員に把握してもらっています。便秘の方には腹部マッサージや乳製品なども提供し工夫をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時には利用者様に喜んでいただける様に話をしながら入浴介助を行っており、脱衣場の温度にも気がつかっています。入浴時間などは本人の希望に合わせるようにもしています。	入浴前の準備から、入浴中の会話、お風呂上がりの化粧水など、利用者に喜んでもらえるような入浴支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活スタイルに合わせて居室・ソファ・畳スペースを自由に利用していただいています。冷暖房の温度調整も行い快適に過ごして頂けるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時に薬の変更があった時は連絡ノートに記載し、申し送り時にも伝え職員全員が情報の共有が出来るにしています。服薬時には名前・日付・いつを読み上げ声に出し利用者様、他の職員からもわかるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の得意な事を見極め、簡単なお手伝いなど出来る事への参加、得意な分野での協力をしていただいています。外での日向ぼっこも行い、気分転換をしてもらっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見、祭事など企画を立て、外出できるように支援しています。散歩を希望される方には職員が付き添い一緒に散歩もしています。	玄関脇に出て、メダカの水槽を眺めたり、散歩や湊川周辺のドライブなど、戸外に出る機会をつくるよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の自己管理できる方がいないので、金銭管理は事務所でしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様が希望される方には電話の取次ぎを行っています。また年賀状の作成も支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	植物、メダカを置き落ちつきのある癒し空間の提供に努めています。ホール等には季節感のある飾りつけも行っています。空気清浄機を使用し排泄交換時の嫌な臭いに対応しています。必要に応じて消臭剤も使用しています。	体調面に考慮し、空気の乾燥や臭気を防ぐ環境づくりに配慮している。また、事業所の文化祭に向けて皆で和気あいあいと作品作りに励むなど、和やかな雰囲気共用空間をつくっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのソファや畳スペースは利用者様が誰でも自由に利用しやすくつろいでもらっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族様と相談し、自宅で使っていた家具などを持ってきていただき、居心地よく暮らせるように工夫しています。家族写真をたくさん飾られている利用者様もおられます。	利用者一人ひとりの価値観に合わせ、使い慣れたタンスや家族写真などを置いて、その人らしい居室をつくっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全の為に歩行時には手すりの利用を促しています。廊下などの動線には障害物を置かないように心掛けています。夜間には足元灯が設置されており、安全に配慮されています。		

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 ケアホームあお
作成日 平成 30年 2月 19日

【目標達成計画】

優先順	項目番	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の唱和をし、意識を高める努力をしているが、理念を具体化して取り組む事が出来ていない。	ケアホームあおの事業所としての理念を作成する。	職員全員で話し合っ、ケアホームあおの事業所としての理念を作成。	1年
2	35	風水害にそなえ実際に避難し誘導方法などについて検討中である。	マニュアルを改めて確認し職員、地域との協力体制をつくる。	地域の防災訓練に参加、運営推進会議で協力をお願いする。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

ケアホームあお